



2022年12月16日

各 位

会社名 株式会社データ・アプリケーション
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 武志
(コード番号：3848)

問合せ先 取締役執行役員経営企画管理本部長 金子 貴昭
(電話：03-6370-0909)

2023年3月期第2四半期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2022年11月7日(月)の2023年3月期第2四半期決算発表以降において、株主・投資家の皆様からのお問い合わせおよび1on1ミーティングなどにていただいた主なご質問をまとめたものです。ご理解を賜る事を目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

【業績について】

Q. 2023年3月期第2四半期決算の概況・全体感について教えてください。

A. 前年同期比で増収増益であり、概ね計画通り進捗しています。増収の主な要因は、サブスクリプションが伸長し、EDI需要も堅調であったことです。

Q. 利益の伸びがいい理由は何でしょうか。

A. 売上面で増収であり、当社のビジネス形態上、増収分がそのまま利益となったことに加え、コロナ禍の影響もあり、想定していたよりも販売管理費が未消化であったためです。特に採用の遅れなどにより人件費関連が消化できていないことなどが要因としてあります。

【事業について】

Q. 戦略製品の拡販状況について教えてください。

A. エンタープライズ・データ連携基盤 ACMS Apex にデータハンドリングプラットフォーム RACCOON を標準搭載したアドバンスドエディションのサブスクリプションを積極的に提案した結果、順調に拡販出来ており、全体的な売上の製品区分比率としても約半分が戦略製品となっています。

Q.価格改定について、パートナー様の反応はどのようなものでしょうか。

A.既存製品「ACMS B2B」などを対象としていることなどからパートナー様にはご理解を頂いております。

【製品について】

Q.10月31日発売の最新版 Web-EDI システム基盤「ACMS WebFramer」について、どのような市場をターゲットにしているのでしょうか。

A. 小売・流通・製造業の大手・中堅企業をターゲットにしています。

【市場環境について】

Q.マクロ需要・問い合わせ状況について教えてください。

A.EDI の 2024 年問題、インボイス制度、電子帳簿保存法などの社会背景からシステムの見直し、新システムへの移行、EDI システムの切り替えなど、多くのお問い合わせを頂いています。また、地方自治体の情報システムを標準化・共通化するいわゆる「自治体システム標準化」※の流れを受け、旧システムから新システムへのデータ移行のニーズも発生しており、RACCOON 拡販にも注力してまいります。

※全国約 1700 の自治体が 2025 年度末までに、デジタル庁が整備するマルチクラウドである「ガバメントクラウド」を活用した標準準拠システムに移行するという取り組み

【社内体制について】

Q.人員採用の進捗状況（2023 年 3 月期第 1 四半期～第 2 四半期）について教えてください。

A.採用活動に関しては積極的に行っており、上期実績は 10 名でしたが、想定していない退職者もあったため、第 3 四半期以降も引き続き採用活動に力を入れるとともに、離職者の抑制に努めます。

Q.採用力強化の具体的な戦略について教えてください。

A.改めて弊社の採用マーケットにおける訴求ポイントを整理し、特に技術者の獲得に向けて積極的に取り組んでいます。

【株式会社データ・アプリケーション (DAL) について】 (<https://www.dal.co.jp/>)

DAL は、1992 年に UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI (電子データ交換) を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS (Advanced Communication Management System) シリーズ」を提供してきました。「ACMS シリーズ」は、国内の EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに 2,600 社 13,500 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

<本件についてのお問い合わせ先>

経営企画管理本部
E-Mail : ir@dal.co.jp
Tel : 03-6370-0909

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止並びに働き方改革の観点から、在宅勤務を中心としたリモートワーク推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。

※当資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON, OCRtran は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

 https://www.dal.co.jp/ 	エンタープライズ・データ連携基盤  	データハンドリングプラットフォーム  	投資家向けIR情報は こちらをご覧ください。 
---	--	--	--